



亀ヶ岡石器時代遺跡  
遮光器土偶 (重要文化財)



是川石器時代遺跡  
縄文時代晩期の土器



三内丸山遺跡  
たくさんの土偶



三内丸山遺跡  
大型板状土偶  
(重要文化財)

縄文時代の開始とともに、新たに土器が出現しました。縄文人は、土をこねて思いどおりに形を作り、火熱による化学変化を起こすことで、より強度な容器を手に入れました。信仰や祭祀については、用途がわからない遺物が多数見つっています。人や動物をかたどったもの、石を刀や剣のように棒状に加工したものなどがあります。豊穡や狩猟の安全、供養などの儀礼や威信の道具として用いられたと考えられます。



風張1遺跡  
頬杖土偶 (重要文化財)



堀合1遺跡  
土偶



十腰内2遺跡  
猪形土製品  
(重要文化財)



有戸鳥井平4遺跡  
板状立脚土偶  
(重要文化財)  
所蔵：野辺地町立歴史民俗資料館



風張1遺跡  
合掌土偶 (国宝)



小牧野遺跡 土偶